

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター センターだより



No.7

発行責任者 ● NPO法人環境ネットワーク埼玉



目次

地球温暖化問題への県の取組について

<環境ネットワーク埼玉からのお知らせ>

1. NPO法人環境ネットワーク埼玉の総会を開催しました
2. 今年度の新規事業

コラム：「エコライフと地球温暖化の関係 その2」

<埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ>

1. 「クールアース・デー IN 埼玉 2009」を開催しました
2. 推進員研修に参加しました

<地域・会員活動研修>

1. NPO法人環境ネットワーク埼玉の見学研修会を開催しました
2. 団体正会員紹介

<事務局からのお知らせ>

地球温暖化問題への県の取組について

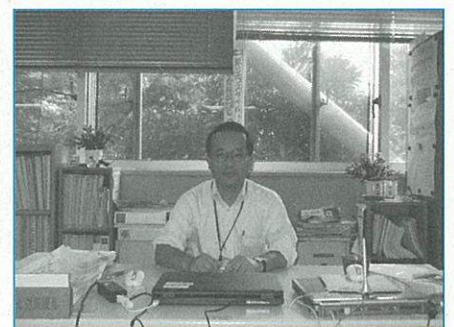
埼玉県環境部温暖化対策課長 北田 弘明

本年7月、イタリアで開催された主要国首脳会議（ラクイラ・サミット）において「先進国全体で2050年までに温室効果ガスを80%以上削減する」という宣言が採択されました。また、12月にデンマークのコペンハーゲンで行われる国連気候変動枠組条約第15回締約国会議（COP15）では、ポスト京都議定書の枠組みが決定される予定です。

このような世界の地球温暖化対策の動きを先取りする形で、県では本年2月に、2050年の埼玉のあるべき姿を示す「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050」（埼玉県地球温暖化対策実行計画）を策定し、「2020年における本県の温室効果ガス排出量を2005年比25%削減する」という中期目標を設定しました。

さらに、3月にはこの計画を実効あるものとするため、「埼玉県地球温暖化対策推進条例」を制定し、事業活動、建築物、自動車、環境物品など、各分野における具体的な取組を定めました。

地球温暖化対策には、県民、事業者、行政等の協働による取組が必要となります。これらの計画や条例に基づき、今後とも各分野の皆様と幅広く連携して低炭素社会の実現に向けて取り組んでまいりたいと思います。



〈環境ネットワーク埼玉からのお知らせ〉

1. NPO法人環境ネットワーク埼玉の総会を開催しました

平成21年度の総会を6月20日(土)に埼玉会館7B会議室において開催しました。総会に先立ち、埼玉県環境部の星野弘志部長より「埼玉県の温室効果ガスの排出状況について」と題して基調講演をいただきました。埼玉県内の気温の推移や部門別の二酸化炭素排出量の推移、削減のための具体的な目標や取り組みなどの詳しい説明がありました。星野部長からは、1990年に比べ1995年の温室効果ガス排出量が飛躍的にのびている理由について、会場の参加者から意見を募る場面もあり、活発な意見交換が行われました。



講演を行う星野部長

平成21年度事業計画

- ①普及啓発・相談事業では、☆エコライフの推進(説明会・報告会を開催、年度末に報告書を配布) ☆環境相談助言事業(センターでの相談助言、小中高等学校への出前講座、事業者相談) ☆省エネ住宅の普及啓発 ☆地域セミナーの開催 ☆冷やせ彩の国フォーラムの開催 ☆いきものみっけ(自然観察会の開催) ☆太陽光市民共同発電所の設置 など
- ②個人・団体の支援交流促進事業では、☆温暖化対策「一村一品知恵の環づくり」事業 ☆子どもエコクラブフェスタの開催 ☆各種展示会への参加 ☆次世代自動車促進PRの実施 ☆さいたま市地球温暖化対策地域協議会運営支援 ☆太陽光発電システム設置補助 ☆環境マネジメント支援事業 ☆見学会の開催 ☆NPO活動支援事業 など
- ③指導者育成では、☆地域研修(行田市、狭山市、幸手市で開催) ☆OJT研修(ファシリテーション研修、インタープリター研修、知識アップ研修) ☆インターンシップの受け入れ など
- ④調査研究および情報提供では、☆センターだより等の発行 ☆ホームページ・環境ネットワークプラザ等運営 ☆普及啓発ツール作成 ☆グリーンプロダクツ調査 など

2. 今年度の新規事業

(1) 「太陽光発電」埼玉県の補助申請の受付業務

20年度1月より開始している国の補助制度に加え、21年度4月より埼玉県の住宅用太陽光発電設備設置費補助金の申請受付が開始しました。当団体では引き続き国の受付業務とともに、埼玉県の申請受付業務も行います。今回の埼玉県の補助金は、予算規模11億円、6800件で(7月議会にて補正予算が追加)、期間は平成21年4月1日(水)～平成22年3月1日(月)です。補助内容は、1kwあたり既存住宅で6万円、新築住宅で3万円となっています。詳細に関しては、埼玉県環境部温暖化対策課のホームページの、「太陽光発電設置支援について」(URL: http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BE00/ondanka/energy/pv_shinsei)をご覧ください。

(2) いきものみっけ



いきものみっけ

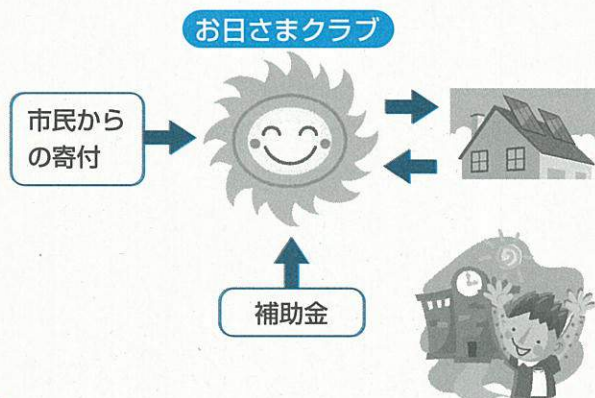
Biodiversity Observation by One Million People | www.mikke.go.jp

「いきものみっけ」とは、環境省生物多様性センターが、平成20年7月から開始した市民参加のいきものしらべです。市民から、身近にいるいきもの情報をホームページ、郵便、FAX等を介して集めるものです。集まった情報は、リアルタイムにホームページの地図上に反映されます。当団体では、特に親子を対象にしたフィールドでの自然観察会を秋と早春に開催する予定です。

<URL: <http://www.mikke.go.jp/>>

(3) 市民共同発電所

今年度は、市民共同発電所を推進することを目的に、団体内に「埼玉お日さまクラブプロジェクト」を組織化します。「埼玉お日さまクラブ」では、自然エネルギーの中でも特に太陽の光エネルギー利用を推進するために、「太陽光市民共同発電所」の設置を目指します。多くの人々が共同で太陽光発電を設置することで、市民参加型の太陽光発電所を作りたいと考えています。まずは寄付や補助金を利用して、埼玉県内初の1号機を年内に設置する予定です。

**(4) 家庭における温室効果ガス排出量の「見える化」に関するモデル事業**

家庭における主要なエネルギー消費機器の使用に伴う温室効果ガス排出量の見える化を図り、これによる温室効果ガス排出量の削減効果等を調査することを目的とした環境省の受託事業を行います。当団体は、モニター世帯の選定、省エネナビの設置支援、計測データの回収などの業務を行います。

<URL : <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11465>>

**コラム：「エコライフと地球温暖化の関係 その2」 ～待機電力～**

環境ネットワーク埼玉理事 浅羽 理恵

身近なエコライフがどのように地球温暖化防止につながってくるのか、第2回目は待機電力です。正式名称は「待機時消費電力」で、主電源がONになっていたりプラグがコンセントに差し込んであるだけで消費される電力をさします。待機電力が存在する理由には、大きく2つあります。1つは、リモコンからの指示をいつでも受けられるようにするため、もう1つは、電化製品についている時計やランプなどを表示させるためです。

(財)省エネルギーセンターの調査によると、平均で家庭の年間消費電力量の7.3%、308kWh/年・世帯(平成17年度)が待機電力のために使われていたそうです。電気の排出係数は0.39kg/kgCO₂ですので、308kWhでは120kgのCO₂排出ということになります。これを電気代22円/kWhで計算すると、年間約7千円分にもなります。待機電力の多い順では、ガス給湯器13%、ビデオデッキ10%、電話機9%、エアコン7%、テレビ5%、温水洗浄便座5%、衛星放送チューナー4%、電子レンジ・電気オープン4%、パソコン3%となっています。

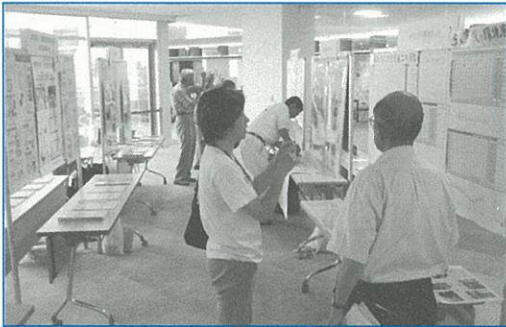
待機電力の削減には、スイッチ付きタップ(=省エネタップ)がおすすめです。また最近の電化製品には、待機電力がほぼ0というものもありますので購入時のチェックもポイントですね。各電化製品の待機電力を実際に調べてみるには、一瞬で測定できる「ワットアワーメーター」が便利です。

〈埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ〉

1. 「クールアース・デー IN 埼玉 2009」を開催しました

7月7日(火)コムナーレ9階・10階において、「地球の今を見つめよう そして未来へ～」と題してクールアース・デー IN 埼玉 2009を開催しました。

イベントはセミナーと展示の二部で構成され、セミナーでは自然写真作家・丹葉暁弥氏によるカナダ・ハドソン湾で生活するホッキョクグマと地球温暖化による影響の現状



展示スペースの様子

についての講演と、埼玉県内の地球温暖化防止の取り組みについて3団体の事例発表が行われました。展示ブースでは、県民団体・行政等の取組や、グリーンプロダクツの展示、UNEP世界環境写真展、環境学習施設ストップおんだん館の参加型プログラム等、34団体の参加がありました。

ホッキョクグマと地球温暖化との関わりから、埼玉県内

の先進的な取り組みまで、環境問題や地球温暖化について広く参加者とともに考えるきっかけになりました。

〈セミナー 講演者〉

第1部 講演 自然写真作家・丹葉暁弥氏

第2部 県内の事例発表

・地球温暖化への取組

発表者：熊谷市立玉井中学校 教諭 大谷裕紀氏

・環境ネットワークよしかわ平成21年度活動報告

発表者：環境ネットワークよしかわ会長 島 允行氏

・川越市の地球温暖化対策への取り組みについて

発表者：川越市環境部環境政策課主査 箕輪信一郎氏



スライドにて講演する丹葉暁弥氏

2. 推進員研修に参加しました

6月27日(土)、さいたま市産業文化センターで行われた、ファシリテーション研修を受講しました。研修のねらいは、ファシリテーターとして地域研修を企画運営するための技術を学ぶことで、フリーコーディネーターの小寺明彦さんを講師に、推進員16名が受講しました。研修内容は、オリエンテーション、自己紹介(フルーツバスケット)、グループワーク1(共通点さがし)、講義1「ファシリテーションとは(基礎)」、グループワーク2(アイスブレイク手法)、講義2「ファシリテーション応用」、グループワーク3「地域研修仮企画(ワークショップ)」、まとめ(講評)という流れで進みました。はじめは緊張していた参加者も、小寺先生の話術に緊張が徐々に解きほぐされ和やかな雰囲気の中、「ファシリテーションの手法」を練習、体験しました。4名4組の班構成で行ったグループワーク3では、地域研修の企画をグループごとに検討するとい

会員・推進員：二宮 由紀

うもので、「川の再生について」や「環境学習について」などの提案がありました。私が参加した班では、企画案「エコライフデーのありかたについて」を発表しました。内容については、参加する推進員が満足する企画かどうかという点で工夫が足りないとのことで、「今一歩」との講評でした。

この研修で体験したこと、ご指導いただいたことを今後の活動の中で、生かしていきたいと感じました。



グループ企画の発表の様子

〈地域・会員活動研修〉

1. NPO法人環境ネットワーク埼玉の見学研修会を開催しました

平成21年8月5日(水)に環境ネットワーク埼玉の見学研修会を開催しました。今年、秩父演習林樹木園の天然林と有限会社秩父ワインを見学しました。

秩父演習林は荒川源流域に位置し、東京大学農学部附属の教育試験研究施設として設置されました。その中でも樹木園は、秩父の原生林に、周辺からの移植や北海道、外国の樹種を導入し、1940年に設置されたものです。当日は、演習林の管理をしている東京大学演習林技術職員の原口さんの説明で、約1時間林内を散策しました。園内の95種133本にはラベルが取り付けられ、多様な樹木の数々を見ることができました。



秩父演習林にて記念撮影

次は、有限会社秩父ワインを訪問しました。秩父で採れた葡萄を使って醸造された「源作印ワイン」という地ワインを製造販売しています。4代目の島田安久氏の案内で、工場内にて製造工程の説明や絞り機などを見学し、ビデオ鑑賞とともに秩父ワインの試飲を行いました。ワイン造りの苦勞や魅力とともに、地産地消を考えるきっかけにもなりました。



秩父ワインの葡萄園

参加者からの声

会員 上領 園子

演習林の中は自然林だけあって雑木の大き木が多く、歩いて心が癒されました。特にブナの大木には感じました。しかし、不思議な光景も目にしました。当然茂っているはずのアズマザサが切り揃えたように細い枝のみで、木々の下が裸地でした。職員の方の説明によると、鹿が増え過ぎ食害により若木や下草が食べ尽くされているためとのことでした。

2. 団体正会員（企業）会員紹介

株式会社 デサン

◆会社概要

代表者：代表取締役 藤池 誠治

所在地(本社)：さいたま市北区大成町4-140

設立：昭和56年7月13日

事業内容：

- ①店舗サイン・ポスター・広告等のデザイン
- ②大型グラフィックス出力及び製作・施工
- ③各種交通広告取扱及び意匠面製作・施工
- ④環境配慮型製品の販売及び製作・施工
(省エネLED製品、省エネ窓ガラスフィルム)
- ⑤バイクから大型トレーラー迄の焼付塗装

当社の環境目標・目的

◇3本柱で実行しています。

1. 基幹になるテーマ

例) 電気の節電、ガスの節約、焼却量の削減(燃やさない)等

2. 当社固有のテーマ

例) エコ商品の拡販、グリーン調達、廃塗料ゼロへ

の挑戦、塗装用シンナーの再生・再使用、クレーム発生防止活動等

3. 中長期的総CO2排出量の抑制

例) 全社事業実施計画とISO活動を整合させ、全ての改善活動をKgCO2に換算。

当社改善活動の進め方

◇以下の4つのポイントで活動しています。

1. 「6S・もったいない活動」を改善の基本とする。
6番目のSは、「5S」+「しつこく」のS。
2. 「改善テーマ」をチーム活動で実践し、毎年2回、全員集会の場で発表・確認し合う。
3. 「ISO委員会」を頂点とし、その下部組織を編成し、内部監査、MR等のフォローアップを「しつこく」実施する。
4. 改善活動の結果を、6ヶ月毎に策定・見直しを行う全社事業実施計画に反映させ、各グループ長が中心になって「改善の種のレベルアップ」と「成果へのこだわり」を徹底している。

〈事務局からのお知らせ〉

1. “センターだより” の原稿募集について

“センターだより”を半年ごとに発刊しています。当団体の行事や地域活動、会員団体・企業でのいろいろな活動について原稿を募集しています。是非ご協力ください。

2. 啓発ツールについて ～ぜひご活用ください～

(1) 新しいパンフレットができました

・子ども向けパンフレット

～地球と私たちの未来のために ストップ温暖化～



(2) パネル

- ・地球温暖化関連 (10枚)
- ・省エネ住宅関連 (3枚)
- ・エコドライブ関連 (1枚)
- ・子ども向け温暖化パネル (3枚)

(3) DVD

- ・地球温暖化 今、私たちにできること
- ・エコライフをはじめよう
- ・知ろう学ぼう考えよう地球温暖化
- ・地球温暖化をとめろ! 計画 (小学生向け)
- ・モーニング娘。の奇跡の星地球 (小学生向け)

他多数

その他ソーラークーラー等があります。是非ご利用ください。

3. NPO法人環境ネットワーク埼玉会員募集について

会員を募集しております。ぜひ一緒に活動しませんか? 申し込みに関する詳細につきましては事務局までご連絡ください。

正会員(1口当たり)

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	5,000円	5,000円	50,000円

賛助会員

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	2,000円	2,000円	10,000円

4. ホームページについて

当センターではホームページを開設しています。その中の「環境ネットワークプラザ」には、埼玉県内をはじめとするイベント情報や当団体会員名簿、環境保全団体名簿、協働や助成金の情報を掲載しています。県内の活動団体の交流スペースとなっていますので、情報、事例など、小さいことでも構いませんのでどしどしお寄せください。連絡先は、info@kannet-sai.org まで。



編集・発行

発行日 2009年9月30日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉
2009年4月1日からは下記のように変更しています。

埼玉県さいたま市南区别所1-1-16 東京電力(株)浦和営業センター2F

TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218 <http://www.kannet-sai.org/>

閉館日: 土・日、祝日

開館時間: 9時～17時 情報やお知らせ等、是非お寄せください。